

インドネシアで日本のマンションブランド「BRANZ」を展開 当社主体による分譲マンション事業「BRANZ BSD」が着工

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村仁)は、現地子会社を通じインドネシア共和国ジャカルタ郊外において三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、社長:小林健)との共同で開発を進めている分譲マンション事業の名称を「BRANZ BSD」と決定し、このたび着工いたしましたことをお知らせします。

インドネシアにおいても日本の分譲マンション開発ノウハウを活かし、環境配慮・居住性の高さ・住み心地の良さ・セキュリティの高さなどを追求した、「ずっと住み続けたい」と思っていただけのような商品化を進めています。



着工の様子

◆ 東急不動産の分譲マンションブランド「BRANZ」の使用決定

東急不動産では1975年からインドネシアで分譲事業を展開しており、2012年に新たな現地法人である東急不動産インドネシア株式会社(本社:ジャカルタ首都特別州、社長:三輪真也、以下 TLID)を設立し、独自開発を行えるよう体制整備を行ってまいりました。

日系不動産企業における海外初の試みとして、東急不動産が日本で展開するマンションブランド「BRANZ」を掲げて販売を行います。BRANZのコンセプトである「人生を極める住まい。」を、インドネシアの分譲事業にも適用し、TLIDが日系企業であることを訴求するとともに、日本品質の住まいであることを強調するため決定いたしました。

TLIDが主体で開発する初の分譲マンション事業として進めているブミ・スルポン・ダマイ(BSD)地区に位置する「BRANZ BSD」、ならびに南ジャカルタ・Simatupang地区に位置する「BRANZ SIMATUPANG」の2つのプロジェクトが対象となります。

◆BRANZのコンセプト:「人生を極める住まい。」

B: Bloom	美しくあるために、生き方を磨く。
R: Revolute	良識を持ちながら、常識を疑う。
A: Achieve	昨日の自分は、今日超える。
N: Neologize	自分の後ろに、道をつくる。
Z:	そして、究極へ。

● 約6,000haにおよぶ大規模開発エリアのランドマーク

BRANZ BSDは、ジャカルタ中心部から約25kmのジャカルタ郊外で開発が進むブミ・スルポン・ダマイ(BSD)地区中心エリアの一角に位置する5haを超える開発プロジェクトで、全体街区のコンセプトを「The Living Color of Nature～暮らしに彩りを～」と策定。第1期事業については2015年8月から販売を開始しています。

【BRANZ BSD 第1期事業の特徴】

- ・2015年5月に開業した「イオンモールBSD CITY」や、インドネシア最大級のコンベンションセンター等の都市機能が順次開発・整備されるBSD地区中心エリアのランドマーク物件
- ・郊外エリアの豊かな住環境と調和した緑あふれる開かれた街づくり
- ・歩車分離、セキュリティ、浄水装置の設置による安全・安心の生活の提案
- ・HEMS、自然換気、LED照明の採用等環境配慮型デザインの採用
- ・クラブハウスなど充実した共用設備の提供

【プロジェクト概要】

	第1期	全体事業
敷地面積	約 16,000m ²	約 53,000m ²
延床面積	約143,000m ²	約399,000m ² (予定)
棟数	3棟	8棟(予定)
総戸数	1,256戸	約3,000戸(予定)

【プロジェクトイメージ】



◆BRANZ SIMATUPANGプロジェクト

✿ 急速に開発が進む注目エリアでの開発

BRANZ SIMATUPANGは、急速に開発が進み、ジャカルタ内直近2年間で最も分譲マンション販売価格の上昇率が高い南ジャカルタ・Simatupang地区に位置しています。高速道路の開通によるスカルノハッタ国際空港へのアクセス性及びフライオーバー開通によるCBDエリアへのアクセス性向上が実現し、また将来のジャカルタ都市高速鉄道(MRT)の開通によりが駅至近となることから、更に利便性が高くなることが見込まれる高いポテンシャルも持ち合わせたプロジェクトです。

株式会社東急設計コンサルタント(総合設計監修)・有限会社クリマ(外観デザイン)・Gensler and Associates/International Ltd. 日本オフィス(インテリアデザイン)など日本の英知を集結し、敷地内には2棟・381戸の分譲マンションの他に、引渡後の利便性向上の為にレストランを中心とした商業棟を計画しています。

【プロジェクト概要】

土地面積	約15,000㎡	
延床面積	約81,000㎡	
総戸数	381戸(予定)	
スケジュール	着工 2015年12月(予定)	販売 2015年10月(予定)

【プロジェクト位置図】

インドネシア中心部地図



※CBD: central business district